# キャリアバックボーンネットワークへの ホワイトボックスルータ商用化に向けた取組み

2023年10月26日

KDDI株式会社

熊木健二

# ホワイトボックスルータ商用化開始

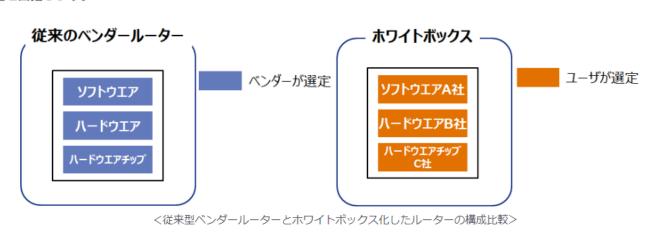
複数ベンダーの組み合わせが可能な「オープンルーター」の商 用化を開始



2023年6月8日 KDDI株式会社

#### ~TIP認定のオープン化した通信機器で低消費電力化、小型化を実現~

KDDIは2023年6月5日、インターネットを接続するバックボーンネットワークにおいて、ハードウエア・ソフトウエアともに複数ベンダーの組み合わせが可能な「オープンルーター」(以下 本ルーター)の商用運用を開始しました。本ルーターはホワイトボックス化(▼注1)によりオープン化しており、従来のルーターと比較して約50%の低消費電力化と約40%の小型化を実現しています。また、Telecom Infra Project(以下 TIP)で認定されており、通信事業者での商用運用は国内初、世界では2例目になります。今後KDDIは、本ルーターの導入を拡大し、バックボーンネットワークのオープン化を目指します。



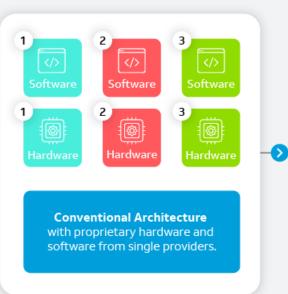
# ホワイトボックスルータを取巻く世界の状況

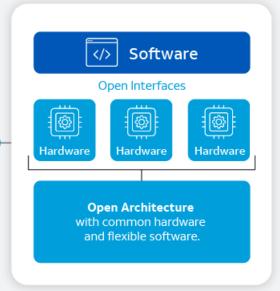
AT&T・KDDIがホワイトボックスの商用化を公表 未だ、既存ルータベンダがバックボーンネットワークを独占

### AT&Tのホワイトボックス化

### ホワイトボックス化の適用範囲

#### SHIFT TO OPEN AND FLEXIBLE ARCHITECTURE





#### **HOW WE ARE USING OPEN, DISAGGREGATED PLATFORMS** 2020年9月商用化 Regional **How customers** connection connect? network points Customer Next-Gen Domestic US **Core Router** gateway Broadband Next-Gen Ethernet Internet Peering Edge Router Network Cell site gateway 2020年11月商用化 Mobility **Cloud Providers** SD-WAN OPEN ROADM Open optical transport connects the national Enterprise network and regional connection points

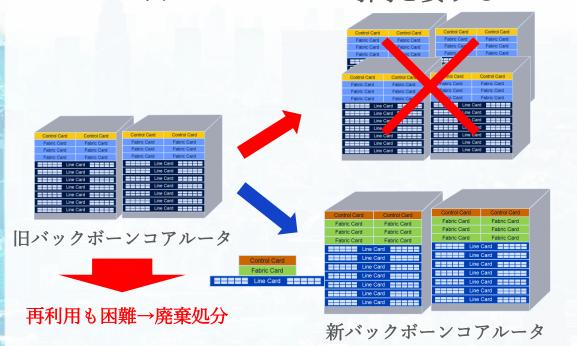
出典: AT&T Labs Unlocks Power of Open, Disaggregated Design (att.com)

# バックボーンネットワークにおける既存ルータの課題

トラヒック増対応、領域毎に必要なルータの検証・運用

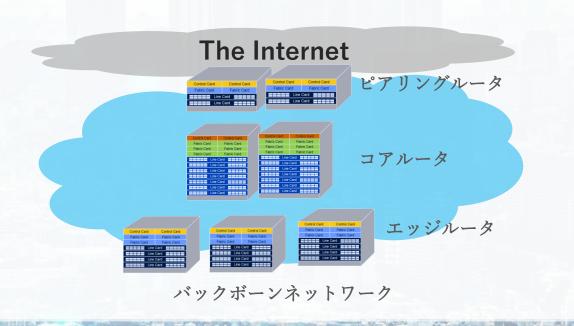
### トラヒック増対応

制御・ファブリック・ラインカードの交換 マイグレーションに時間を要する



### 領域毎のルータ検証・運用

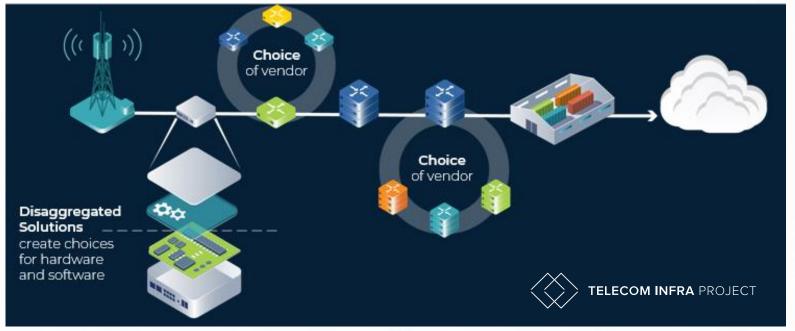
<u>コア・エッジ・ピアリング専用ルータ</u> 検証・運用ナレッジ・予備品は領域毎に用意



# KDDIのホワイトボックスルータに向けた取組み

Telecom Infra Project(TIP)におけるホワイトボックスルータ標準化

MetaがMWC2016にて発表 テレコムネットワーク全体をオープン化 欧米・アジアの主要キャリアが参加



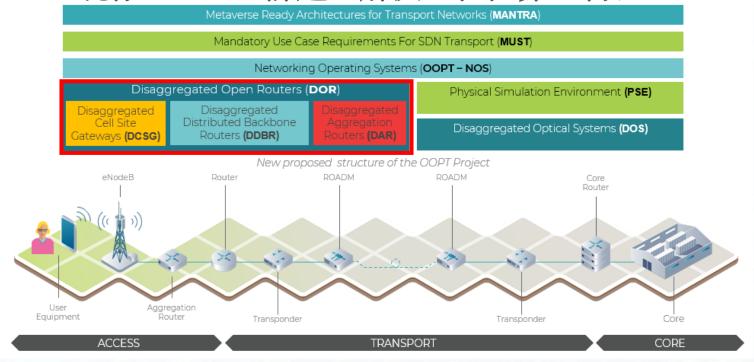
テレコムネットワーク

出典:TIP資料

# ホワイトボックスルータ標準化

Disaggregated Open Routers(DOR)の立上げ 2020年3月設立

KDDI, Vodafoneが議長となり牽引 欧米主要10社が集結 既存ルータの課題を解決し、世界を制す!



出典:<u>Open Optical & Packet Transport - Telecom Infra Project</u>

## TIPガバナンスモデル

キャリアの要求仕様に準拠した製品の開発・検証・商用化

Operators Requirements



### Specification

- Operators kick-off
- Project by-weekly calls
- RFI Process

キャリアでの仕事の進め方に近い 継続的な開発・検証・商用化 キャリア間での検証結果の共有

#### Prototyping

- Project meeting (leading operators and shortlisted providers)
- Technology Providers individual alignments

#### **Testing**

- Project monthly calls
- Operators test HW/SW combinations sharing lab infra and resources
- Testing reports shared among operators

## Continuous development continuous deployment

- Project monthly calls
- Specification v2 kick-off
- New Tech providers considered
- Stable solutions promotion
- Lessons learned and outcomes

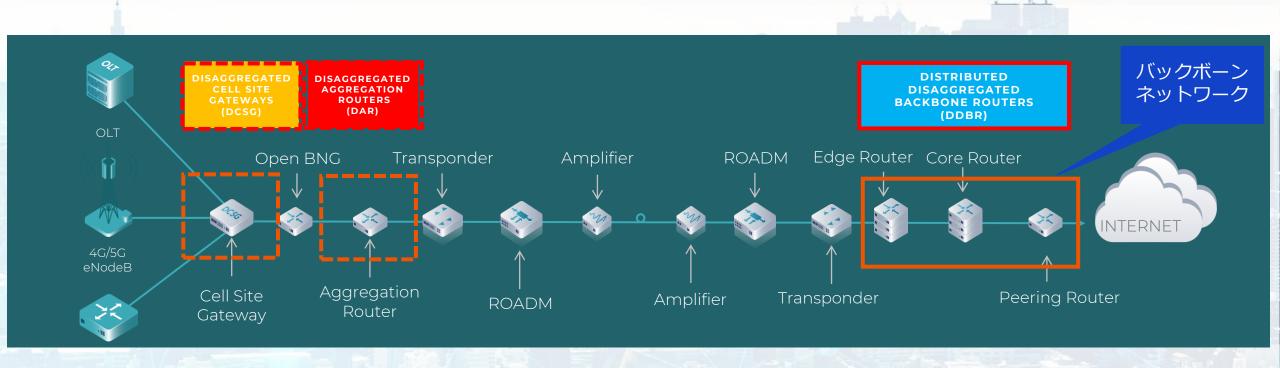
Providers Inputs and Roadmaps

出典: TIP OOPT DOR Kickoff資料

## TIP DORの活動内容

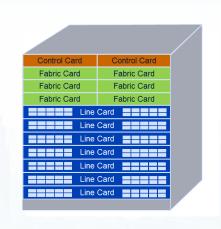
技術仕様策定・製品開発・検証・商用化し、世界に浸透・普及

バックボーン、アグリゲーション、セルサイト領域とすべてのルータをカバー



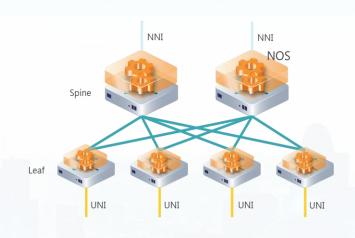
# ルータアーキテクチャの比較

## 大きく3つのルータアーキテクチャが存在



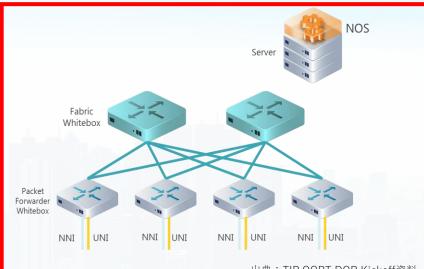
## シャーシ型

- ・シングルベンダから提供される従 来型のルータ
- ・拡張はシャーシの大きさ (スロット数) により制限
- ・1台のルータとして扱える
- · OoS, Deep Buffers, Large TCAM



## クロスファブリック型

- ・ベンダの製品やホワイトボックスから構 成される
- ・シャーシの大きさに依らず拡張可能
- ・それぞれの機器は個別に管理され、 大量のIPアドレスが必要
- ・QoS, Deep Buffers, Large TCAMなし



出典: TIP OOPT DOR Kickoff資料

### クラスタ型

### Distributed Disaggregated Backbone Routers

- ・ホワイトボックスから構成
- ・シャーシの大きさに依らず拡張可能
- ・全体で1台のルータとして管理され、必要となる IPアドレスはシャーシ型と同等
- QoS, Deep Buffers, Large TCAM

## DDBR & DDC

2つの違いについて

## **DDBR**



**HW+SW Specifications** 

10 Carriers

## DDC



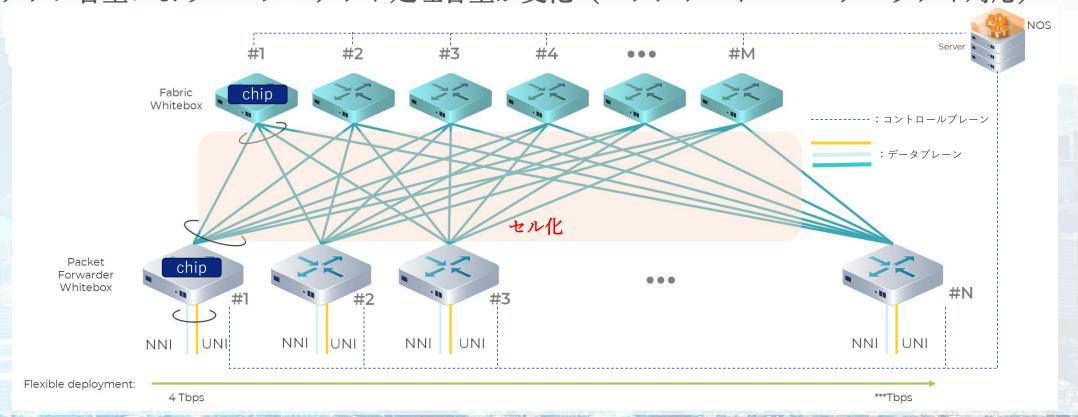
**HW Specifications** 

AT&T

# DDBRアーキテクチャ(1)

スケールアップ・スケールアウトが同時に可能、1台のルータとして扱える

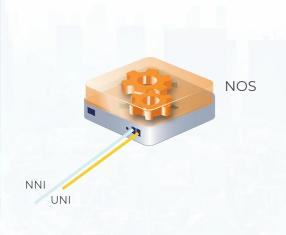
コントロールプレーン・データプレーンが<u>完全分離</u> データプレーンは<u>セル化</u>されたパケットがPacket ForwarderからFabricへ チップ容量によりルータパケット処理容量が変化(バックワードコンパチビリティ対応)



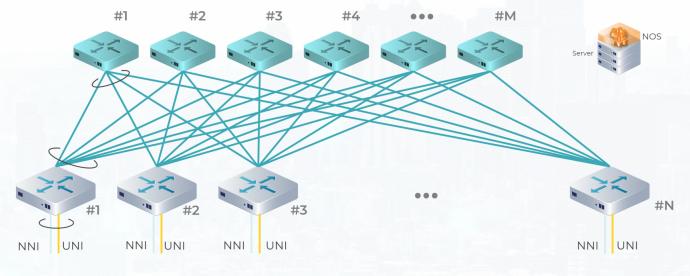
# DDBRアーキテクチャ(2)

Packet Fowarder1台・複数台共に動作

Packet Forwarder1台で動作するルータ: Standalone Packet Forwarder複数台+Fabricで動作するルータ: Cluster



Standalone

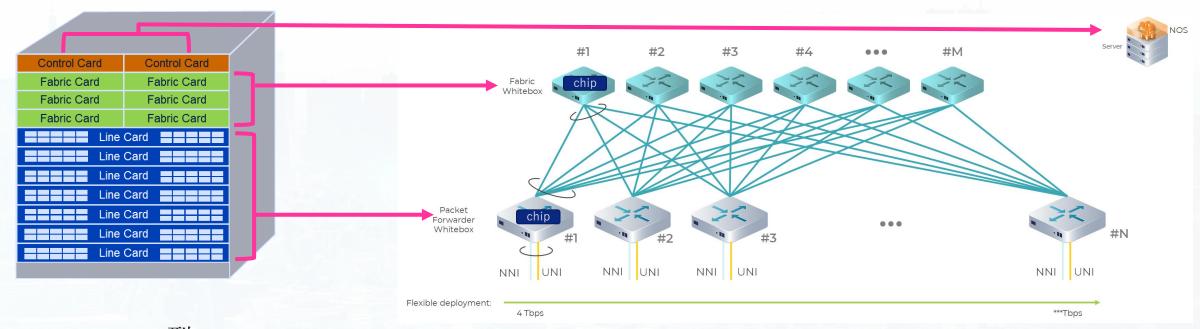


Cluster

# シャーシ型とDDBRの比較

制御・ファブリック・ラインカードが分離・分散

スケールアウト可能なアーキテクチャ ファブリック・パケットフォワーダをトラヒック量に合わせて増減可能



シャーシ型

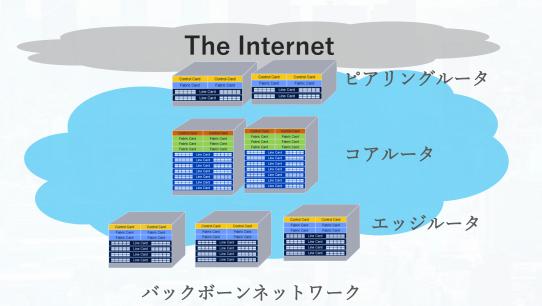
**DDBR** 

# DDBRの優位性

DDBRアーキテクチャはシンプルかつ効率的

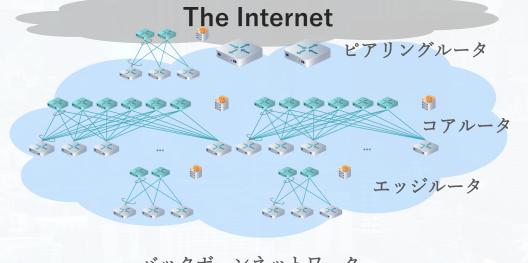
### シャーシ型:<u>複数のアーキテクチャ</u>

<u>コア・エッジ・ピアリング専用ルータ</u> 検証・運用ナレッジ・予備品は領域毎に用意 ラインカードの枚数に制限



### DDBR: 1つのアーキテクチャ

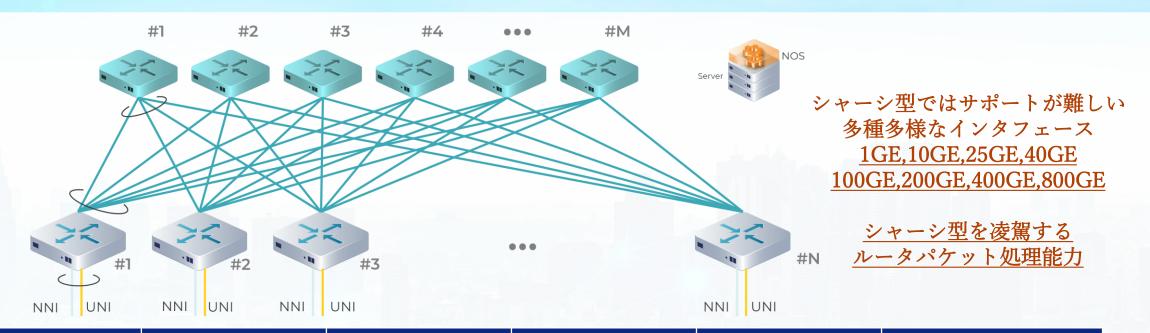
領域に関わらず同じアーキテクチャ・機器で対応 検証・運用ナレッジ・予備品は共通 スケールアップ・スケールアウトが可能



バックボーンネットワーク

# DDBR HW仕様

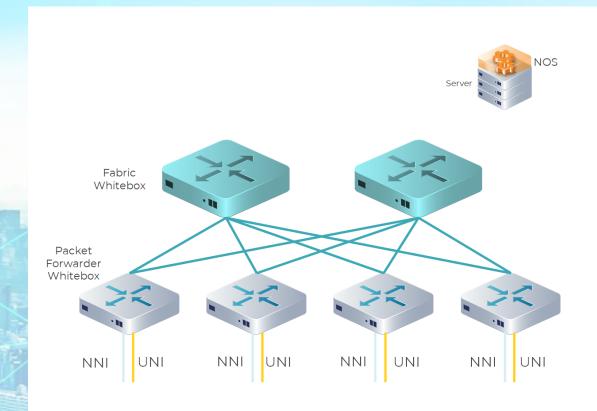
チップによりルータパケット処理能力が変化、複数のチップを利用可能



Chipset	Standalone	Small Cluster	Medium Cluster	Large Cluster	Extra Large Cluster
Jericho2/Ramon	4Tbps	16Tbps	96Tbps	192Tbps	-
Jericho2+/Ramon	14.4Tbps	172.8Tbps	230.4Tbps	345.6Tbps	691.2Tbps
Jericho3/Ramon3	14.4Tbps	230.4Tbps	460.8Tbps	691.2Tbps	921.6Tbps

## DDBR SW機能

## ルーティング機能を中心に管理・自動化・QoS・パフォーマンス等





## Requirements(一部)

#### Interface

1/10/25/40/100/400GE Link Agg. & HW based BFD

### Routing

IPv4/IPv6 OSPF/ISIS MP-BGP LDP RSVP-TE SR MPLS PIM-SM

### Management

Netconf/Telnet/SSH Ping/Traceroute IP-SLA SNMP/Telemetry TWAMP

### SDN & Automation

PCEP NETCONF BGP LS

#### Services

L2VPN/L3VPN EVPN

### Security

IEEE802.1x/EAP-TLS ISIS MD5 BGP MD5 FlowSpec

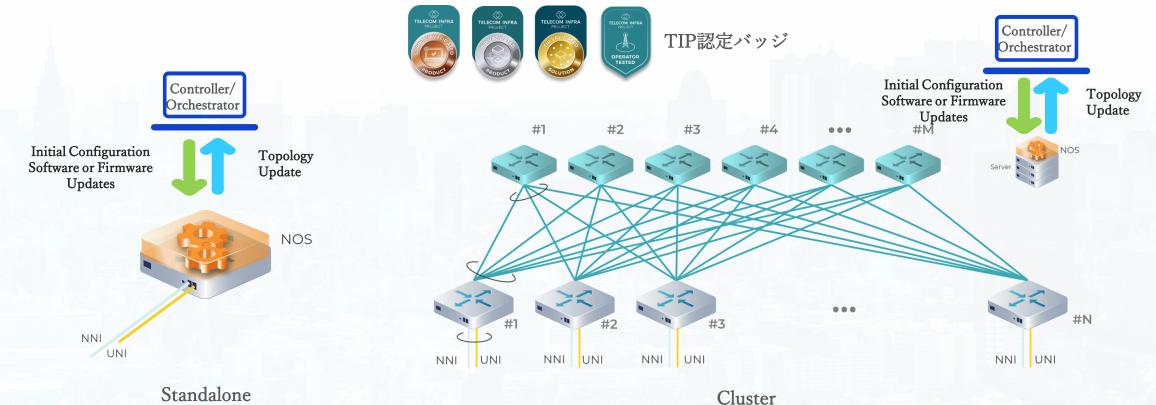
### QoS

HQoS Traffic Shaping Strict priority queue, WFQ, WRED

## DDBRの実装

HW/SWで複数ベンダがサポート

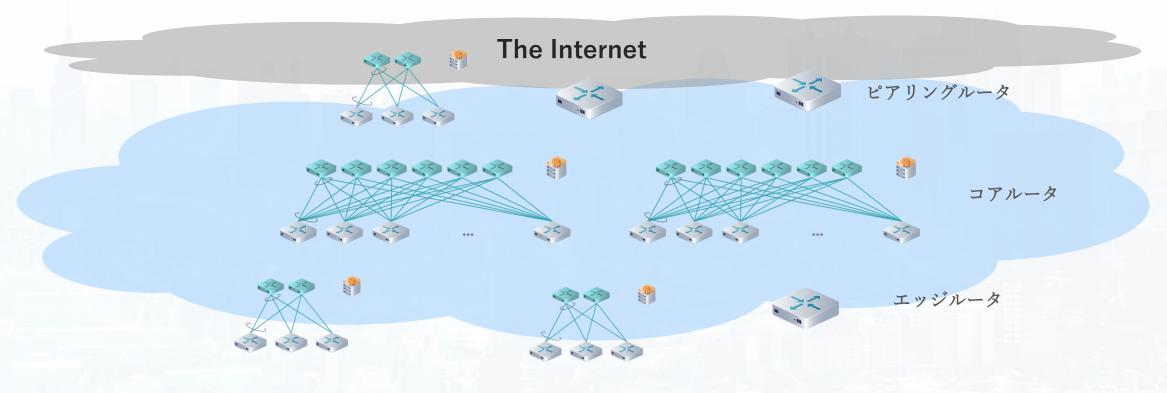
サポートベンダにはTIP認定バッジを授与 機器の見える化・運用の自動化が容易なアーキテクチャ



# DDBR導入ユースケース

コア・エッジ・ピアリングルータ

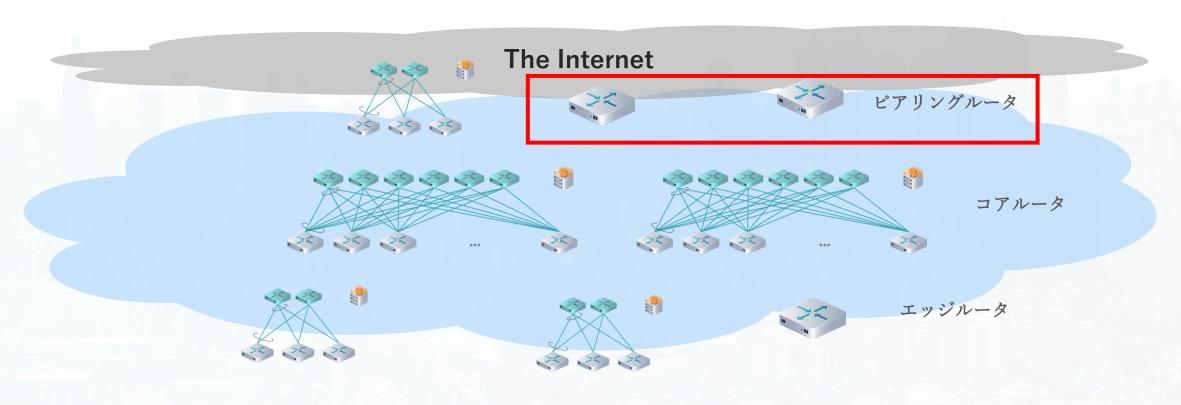
シンプルなソフトウエア機能・パケットフォワード機能 アクセスネットワークよりもバックボーンネットワークの方が適している



# KDDI DDBR商用化について

ピアリングルータ、Standaloneでの適用

標準的な商用検証を完了 商用化後、SW/HW共に大変安定している状況



DDBR:日本への導入機会創出

DDBRはTIPにて標準化されたルータ機器

TIPでは、海外キャリアにおけるDDBRの機器評価・ 商用導入情報の共有を既に開始!

国内キャリア・ISPにDDBRの導入機会を増やし、 運用ノウハウを共有していきましょう!

## まとめ

- キャリアバックボーンネットワークにおける既存 ルータの課題を共有
- TIPにて標準化したDDBRアーキテクチャ、ならびに その優位性を提示
- DDBR商用開始





「つなぐチカラ」を進化させ、 誰もが思いを実現できる社会をつくる。

- KDDI VISION 2030

